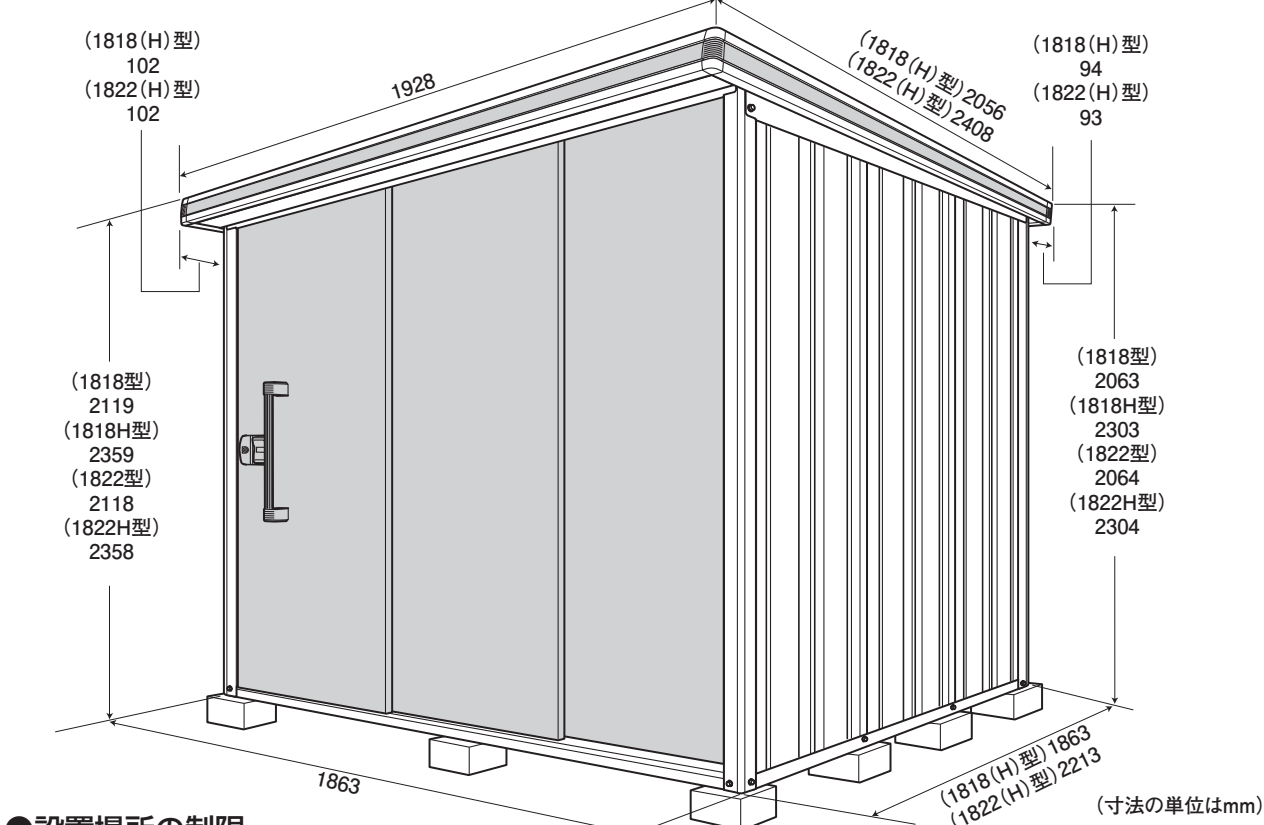


ヨド物置エルモ

組立説明書 LMD-1818型・1818H型・1822型・1822H型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「1822」の組立手順を基本に説明しています。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

部 品	1818型	1822型	1818H型	1822H型
上枠前後	LM5-0133	LM5-0133	LM5-0133	LM5-0133
下枠前後	LM5-0204	LM5-0204	LM5-0204	LM5-0204
上枠左右	LM5-0354	LM5-0354	LM5-0354	LM5-0354
下枠左右	LM5-0354	LM5-0354	LM5-0354	LM5-0354
柱前AS-左	LM5-0416	LM5-0416	LM5-0417	LM5-0417
柱後	LM5-1455	LM5-1455	LM5-1456	LM5-1456
側壁	LM5-1104	LM5-1104	LM5-1104	LM5-1104
一般型	LM5-0523	LM5-0523	LM5-0523	LM5-0523
積雪型	LM5-3523	LM5-3523	LM5-3523	LM5-3523
豪華型	LM5-0718	LM5-0720	LM5-0718	LM5-0720
床板	LM5-0932	LM5-0932	LM5-0932	LM5-0932
屋根	LM5-1003	LM5-1004	LM5-1013	LM5-1014
壁	LM5-1003	LM5-1004	LM5-1013	LM5-1014
一般型	LM5-1021	LM5-1021	LM5-1031	LM5-1031
積雪型	LM5-1022	LM5-1054	LM5-1032	LM5-1064
豪華型	LM5-1054	LM5-1054	LM5-1064	LM5-1064
一般型	LM5-1704	LM5-1704	LM5-1714	LM5-1714
積雪型	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
豪華型	18	18	18	18
豪華型	18	18	18	18

●梱包内容表

●部品	1818(H)・1822(H)
LM5-0133	ELD 周柱固定金具 2
LM5-0204	ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15 5 (1)
LM5-0354	ELD 柱補強金具 (AS) 1
LM5-0416	ELD 下フレームキャップ 1
LM5-0417	T型レンチ 1
LM5-0523	ELD アンカープレート (L) 4
LM5-0523	ELD 屋根側面補強 L A 2
LM5-0523	ELD 屋根側面補強 L B 1
LM5-0523	ELD 屋根側面補強 L C 1
LM5-0523	ボルト M 6 × 15 (白) 177 (5)
LM5-0523	組立説明書 1
LM5-0523	取扱説明書 1
LM5-0523	保証書 5年
※() 内は予備	

●柱	1818・1822
LM5-0416	ELD 柱前 AS-右 L 1
LM5-0416	ELD 柱前 AS-左 L 1
LM5-0416	ELD 柱後 H 2
LM5-0416	ELD 戸当り (M) L 1
LM5-0416	ELD アンカープレート (L) 2
LM5-0417	ELD 屋根側面補強 L A 2
LM5-0417	ELD 屋根側面補強 L B 1
LM5-0417	ELD 屋根側面補強 L C 1
LM5-0417	ボルト M 6 × 15 (白) 177 (5)
LM5-0417	組立説明書 1
LM5-0417	取扱説明書 1
LM5-0417	保証書 5年
※() 内は予備	

●屋根	1818(H)・1822(H)
LM5-0932	ELD 屋根 (3S) A2.5 1
LM5-0932	ELD 屋根 (70) A2.5 1
LM5-0942	ELD 屋根 (3S) A3.0 1
LM5-0942	ELD 屋根 (70) A3.0 2
●壁	
LM5-1003	ELD 壁パネル L-A 3
LM5-1003	ELD 壁パネル L-A 3
LM5-1004	ELD 壁パネル L-A 4
LM5-1013	ELD 壁パネル L-A 3
LM5-1013	ELD 壁パネル L-A 3
LM5-1014	ELD 壁パネル L-A 4
LM5-1014	ELD 壁パネル L-A 4
LM5-1021	ELD 壁パネル L-F 1
LM5-1021	ELD 壁パネル L-F 1
LM5-1022	ELD 壁パネル L-F 2
LM5-1031	ELD 壁パネル H-F 1
LM5-1031	ELD 壁パネル H-F 1
LM5-1032	ELD 壁パネル H-F 2
LM5-1032	ELD 壁パネル H-F 2
●床	
LM5-0718	ELD 床板 A2.5 5
LM5-0718	ELD 床板 A2.5 5
LM5-0720	ELD 床板 A3.0 2
LM5-0720	ELD 床板 A3.0 2
LM5-0721	ELD 床板 A3.0 3
LM5-0721	ELD 床板 A3.0 3
●床板	
LM5-1903	ELC 床板 A2.0N 2
LM5-1903	ELC 床板 N 右 3
LM5-1903	ELC 床板 N 左 3

○部材名にはA2.5、A3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
●銀は、雨の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
- ※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 12ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧

ボルト(白) M6×15	ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15
-----------------	-------------------------------

●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図

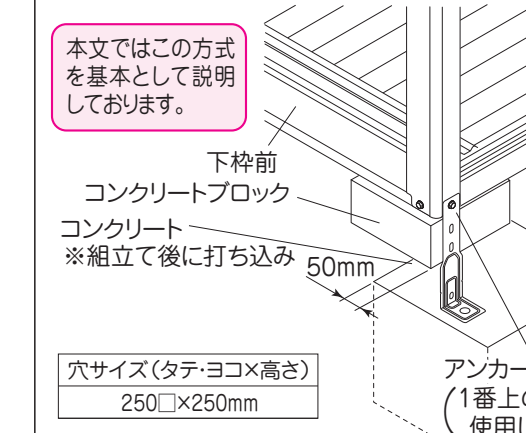
のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

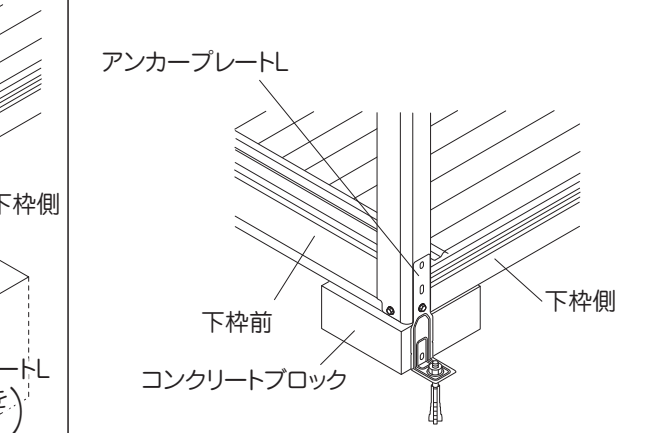
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

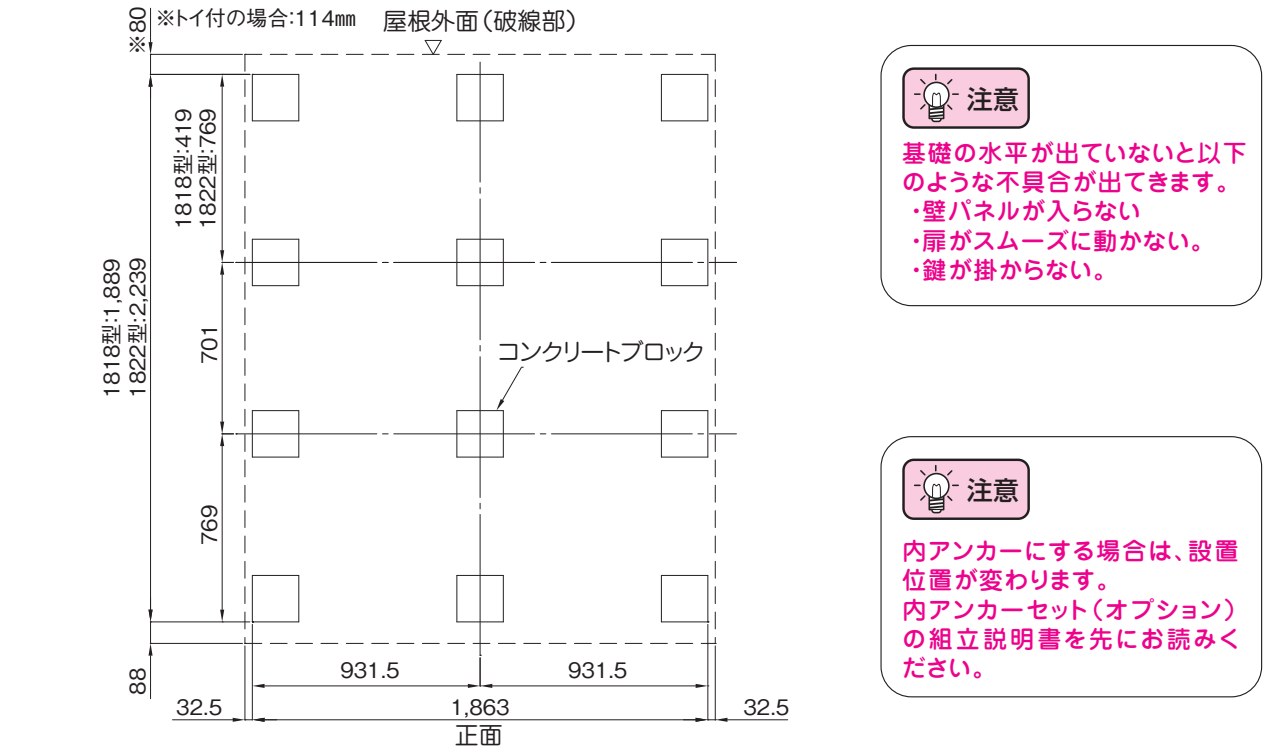
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



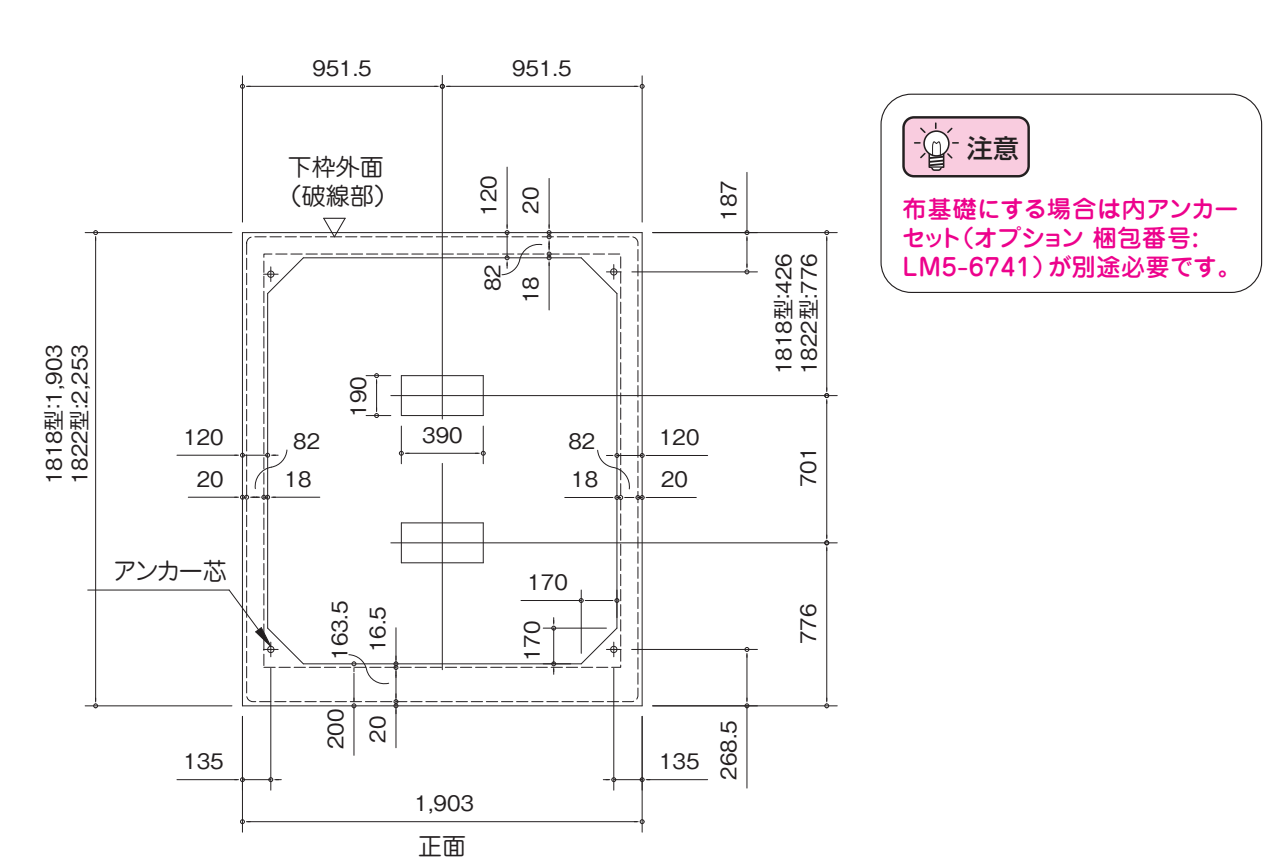
注意

基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

注意

内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先に読んでください。

《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

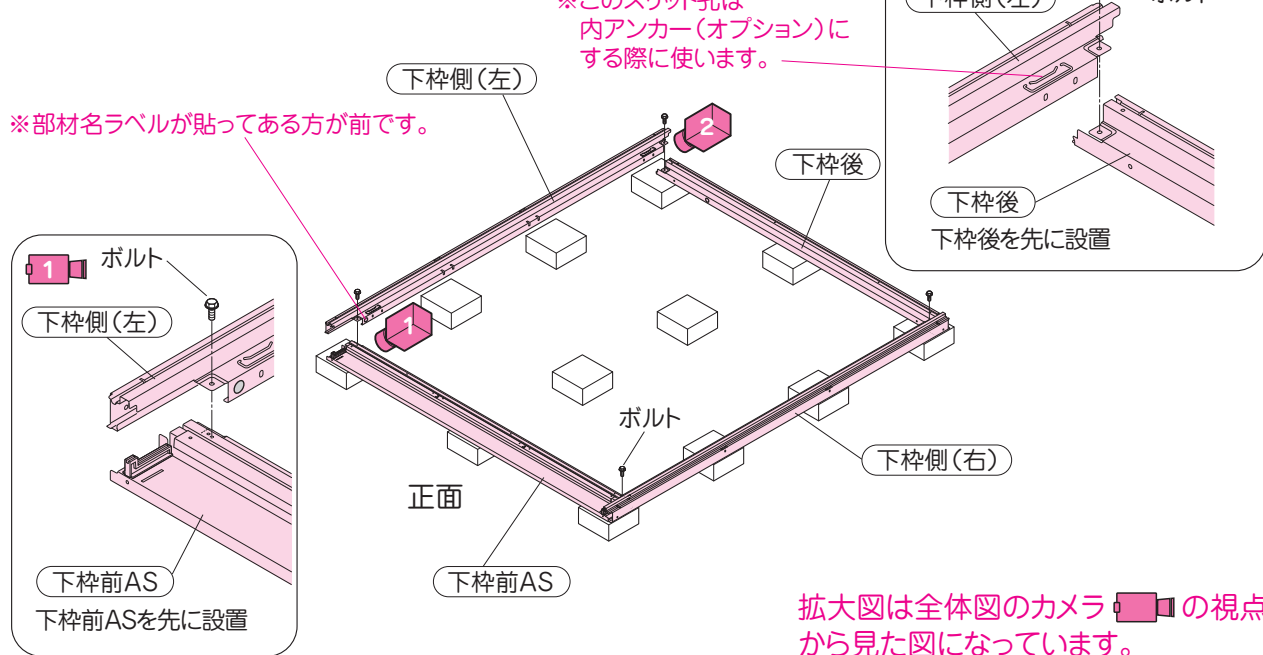


注意

布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

2 下枠の組立

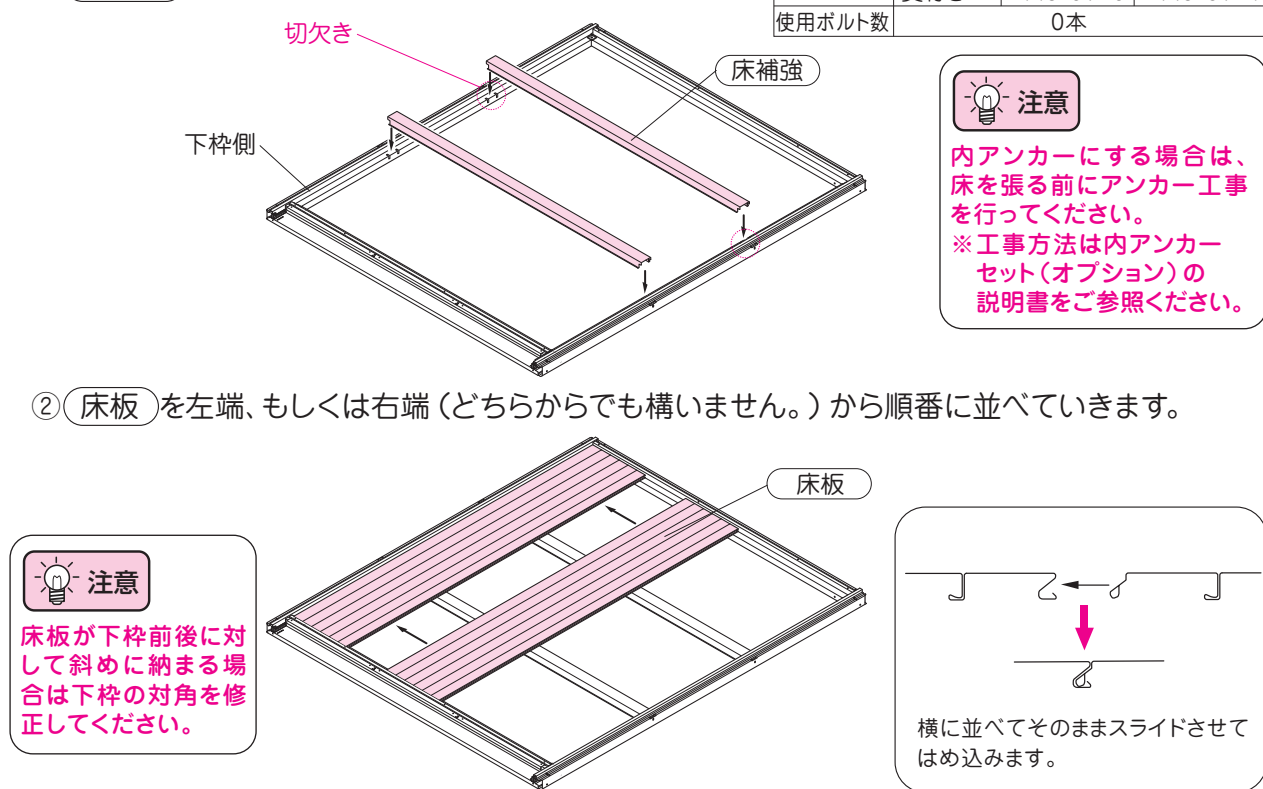
- ①(下枠前AS)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。1 2



拡大図は全体図のカメラの視点から見た図になっています。

3 床の設置

- ①(床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



注意

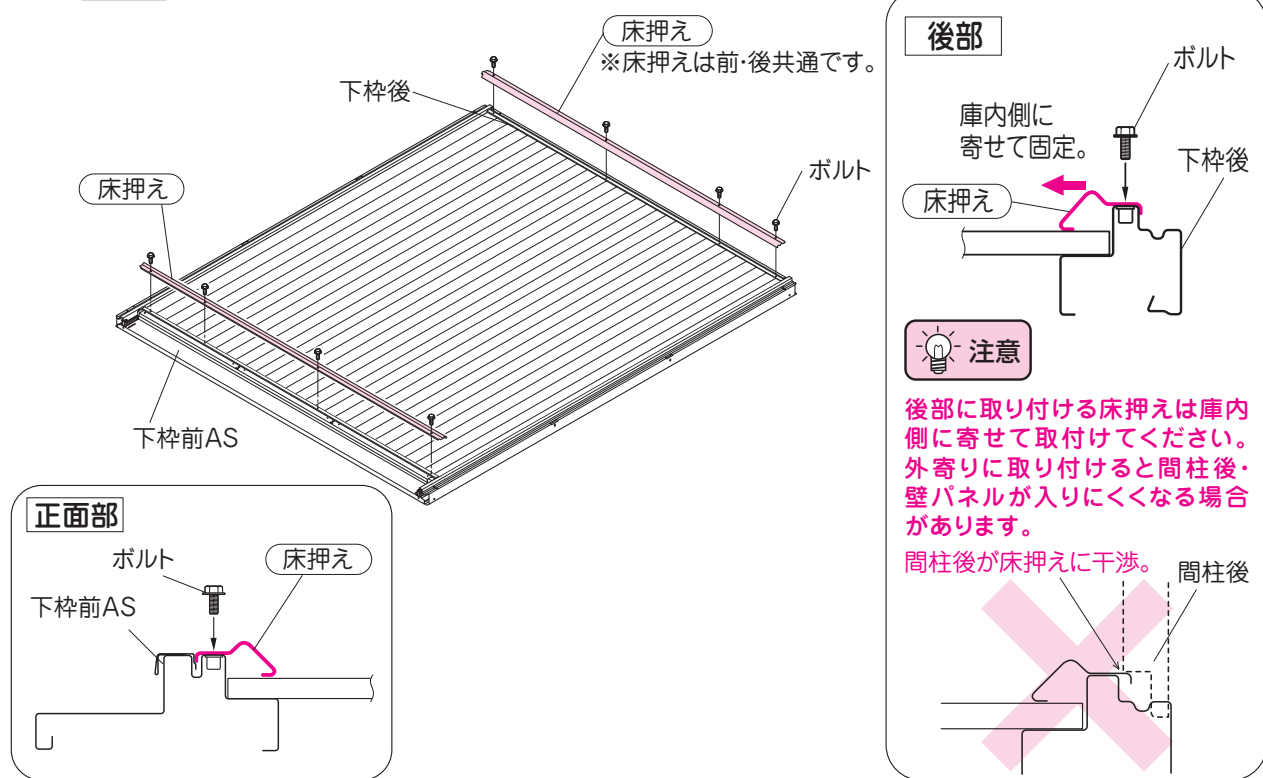
内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。

注意

床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前AS・下枠後に取付けます。

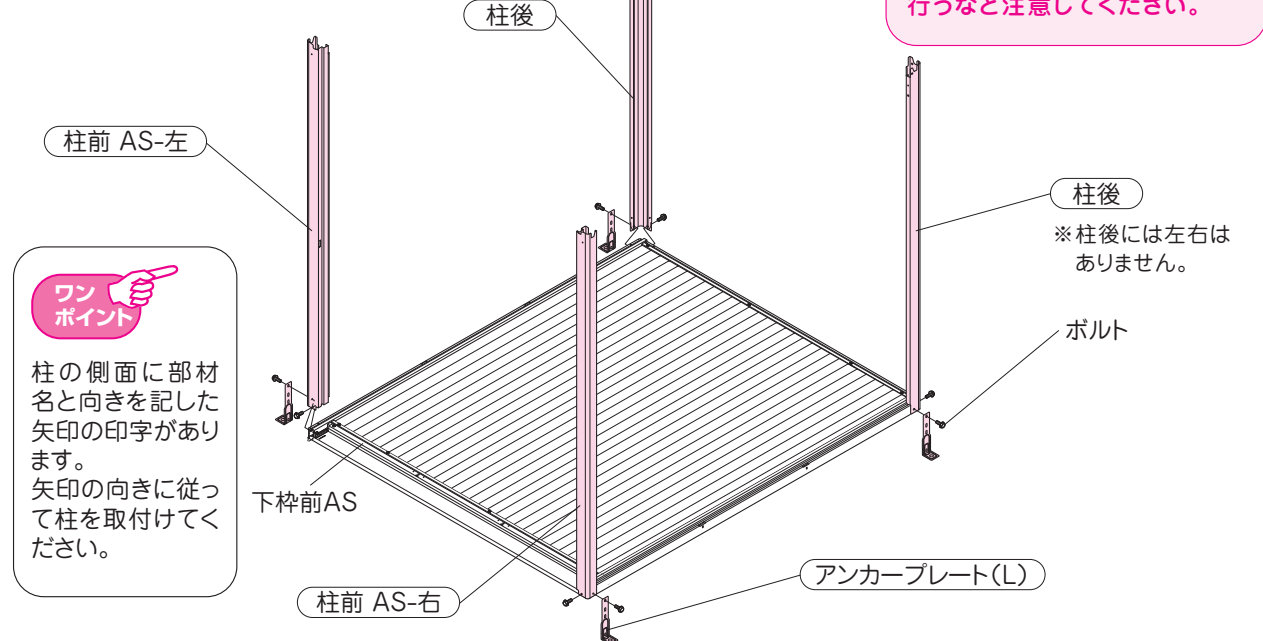


注意

後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けた場合は間柱後・壁パネルが入りこなくなる場合があります。

5 柱の取付け

- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。

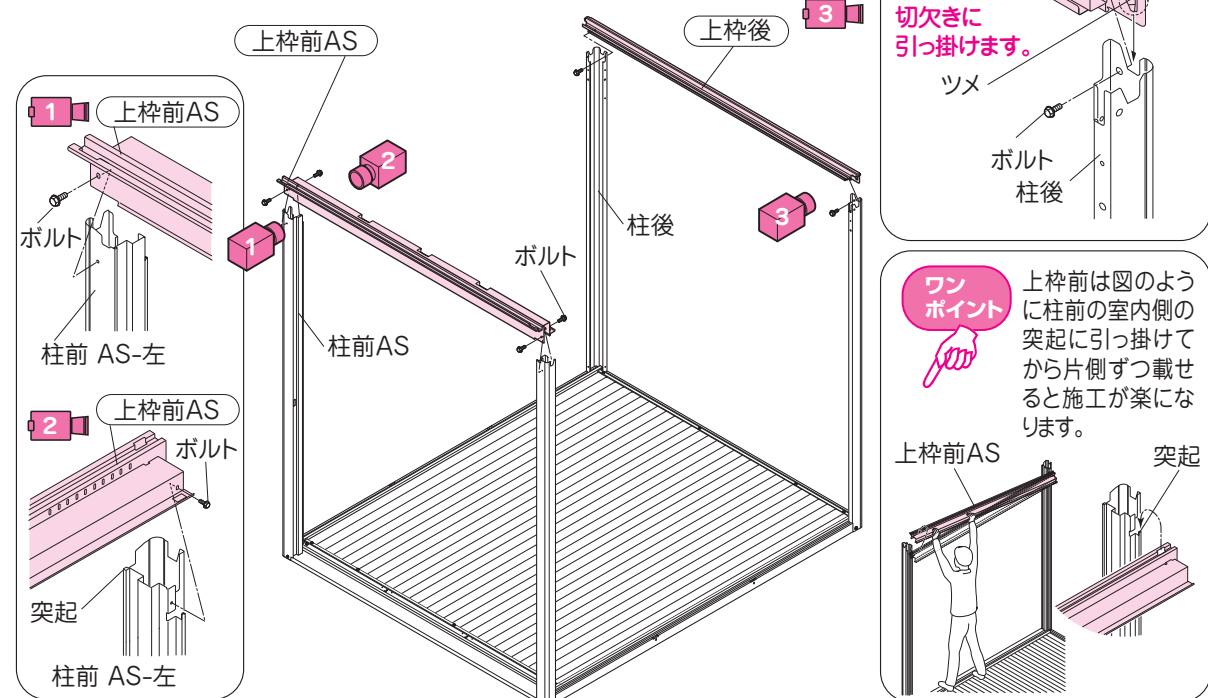


注意

柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

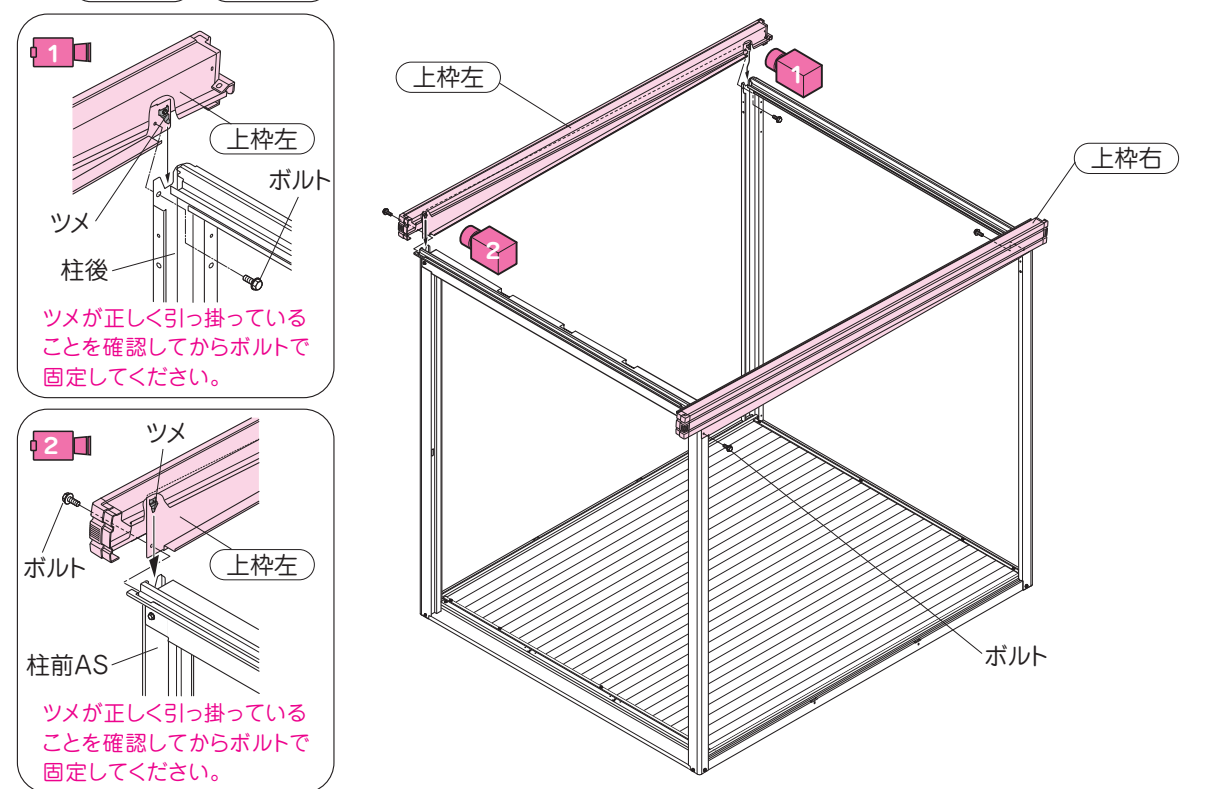
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



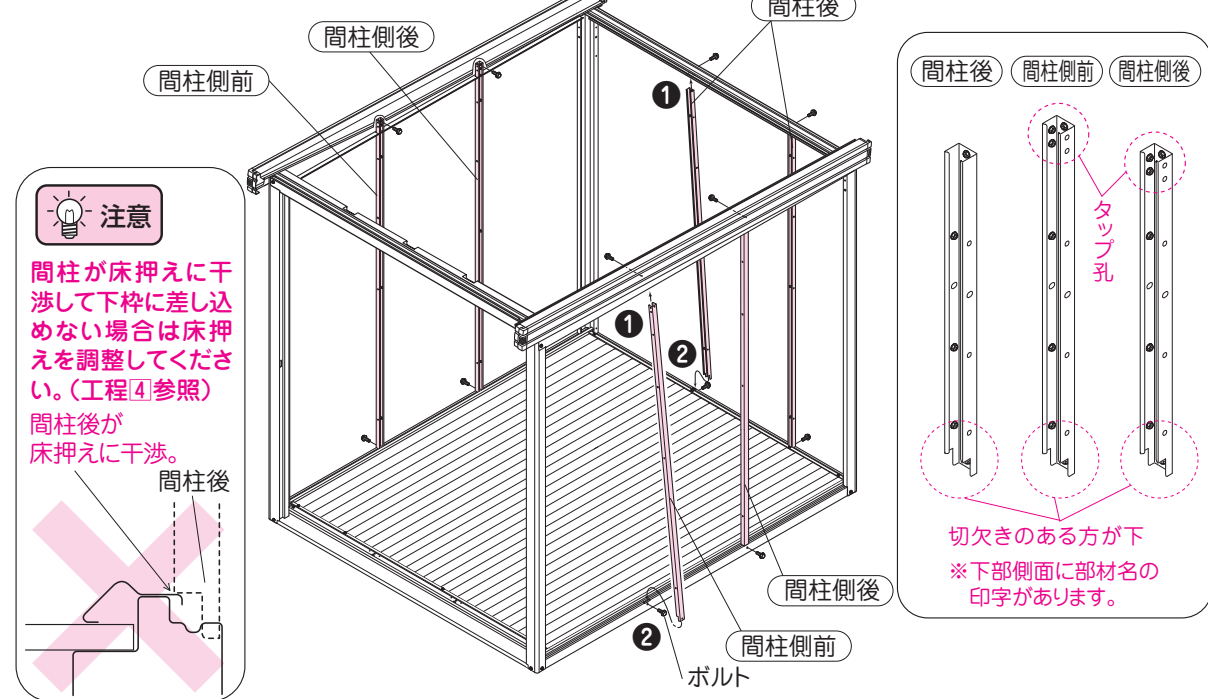
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。1 2



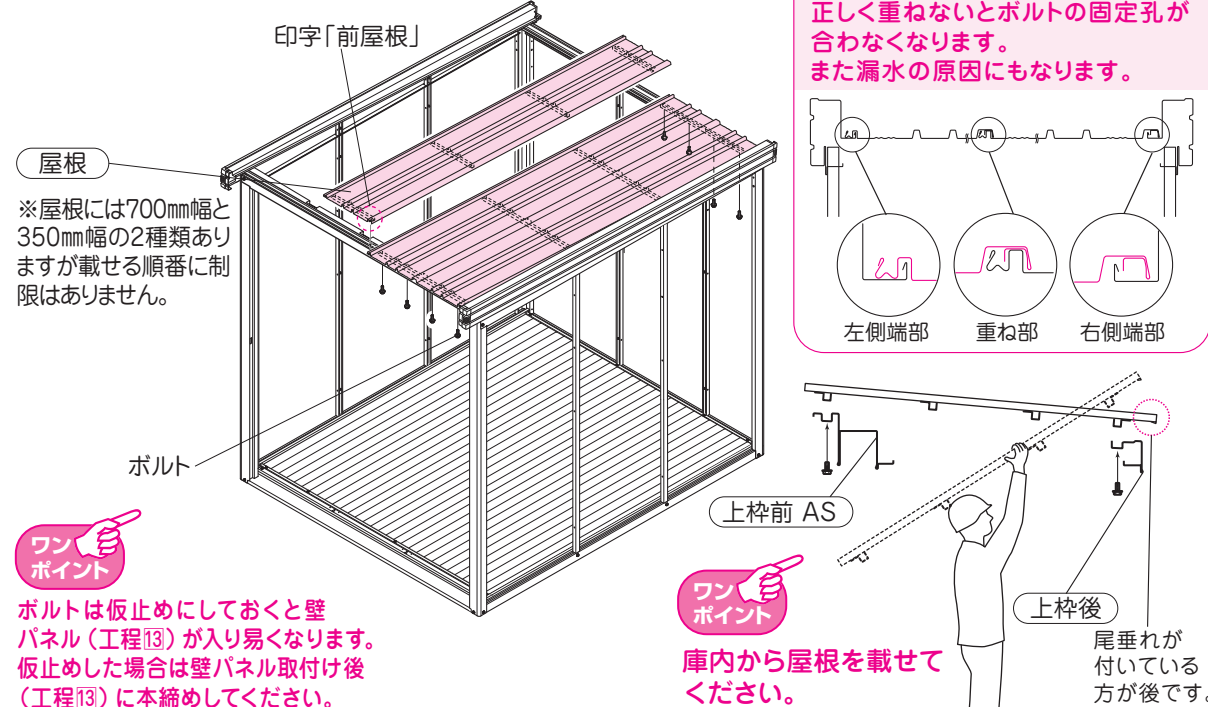
8 間柱側・後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ②(間柱側)も同様にして取付けます。



9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



ワンポイント

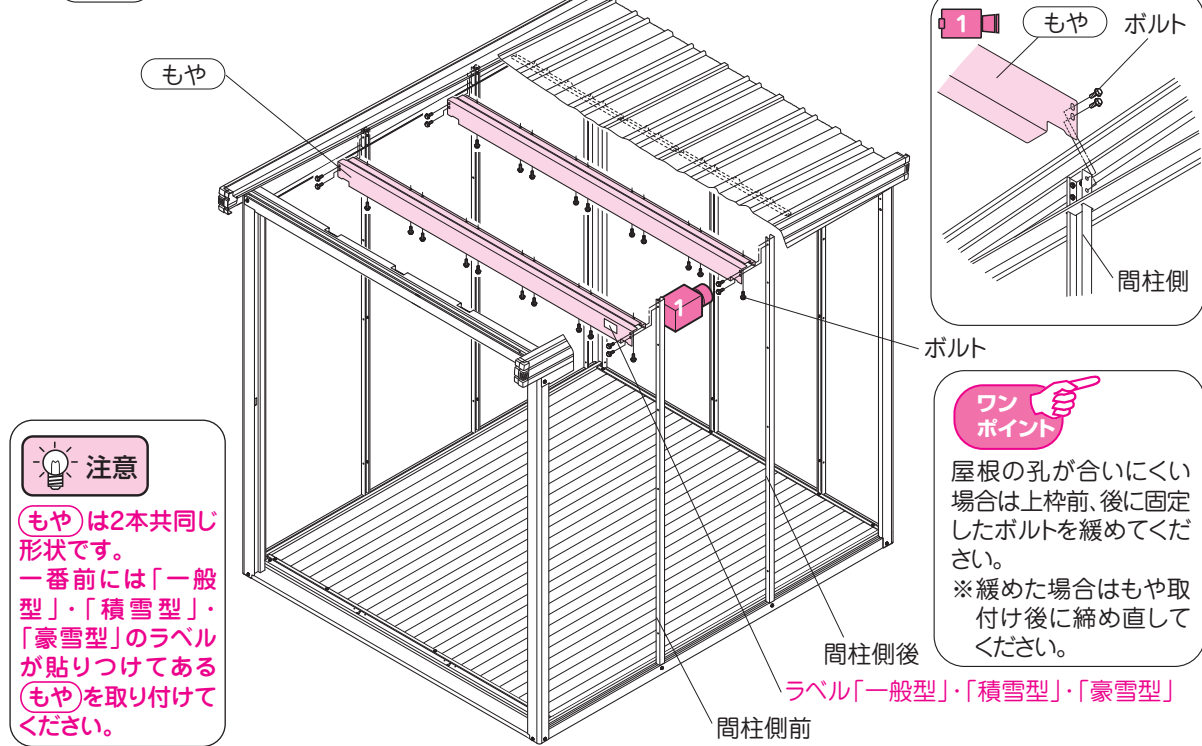
ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程13)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程13)に本締めしてください。

ワンポイント

庫内から屋根を載せてください。

10 もやの取付け

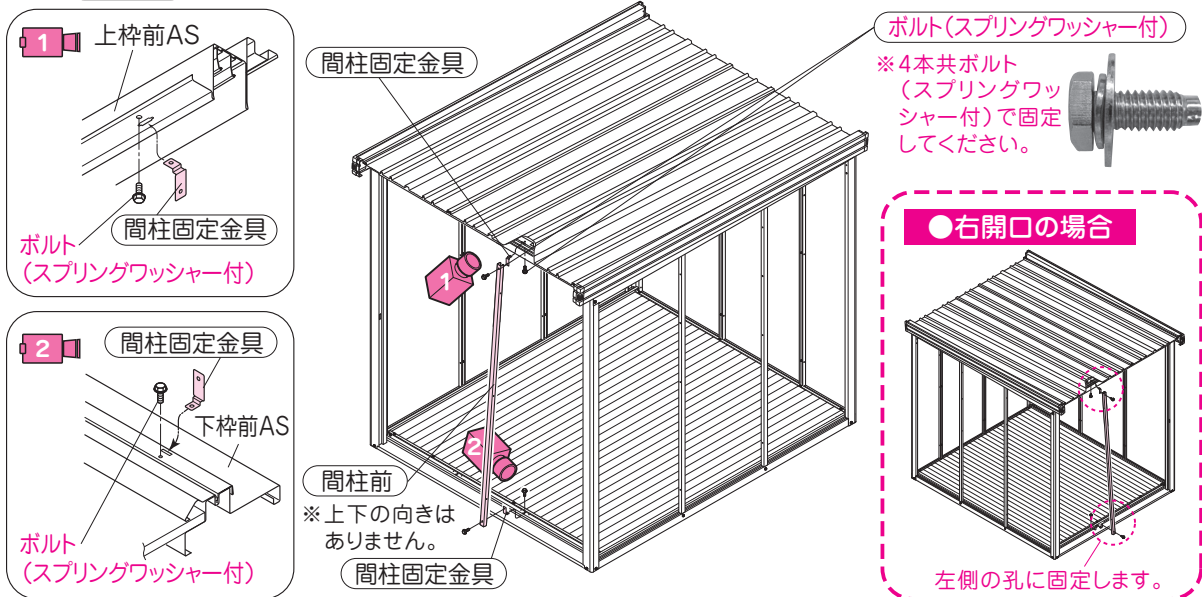
- ① もやを正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- ② もやと屋根をボルト止めします。



11 間柱前の取付け

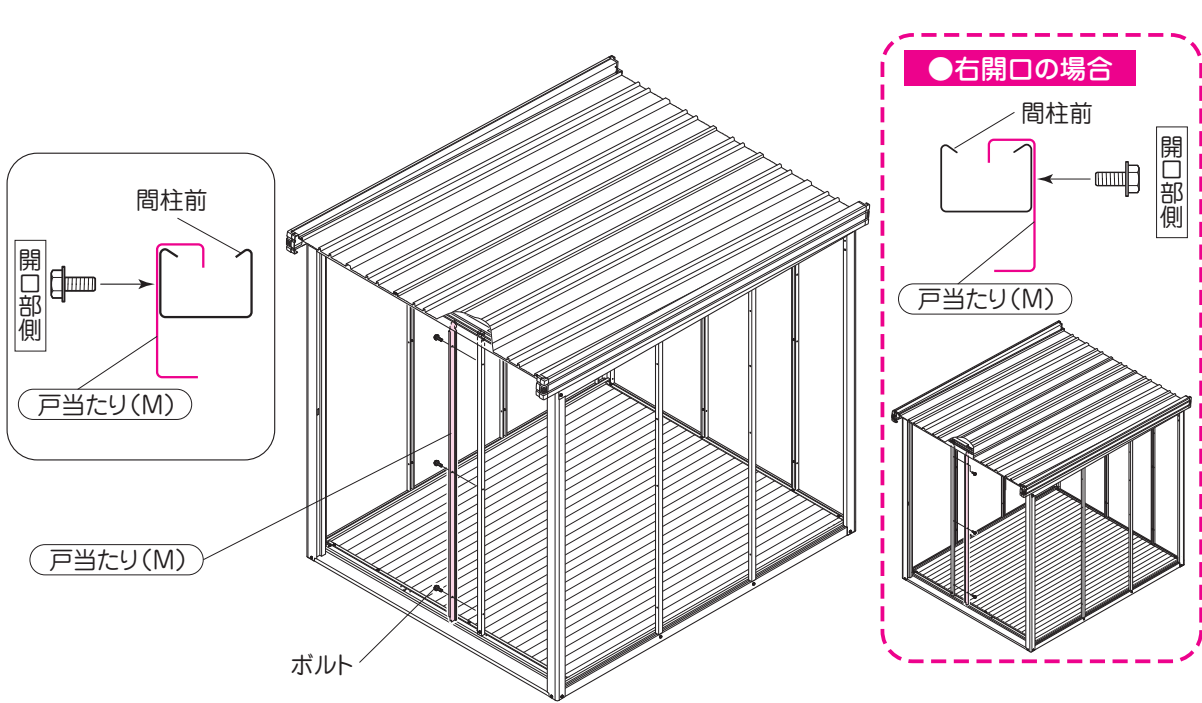
- 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて相立説明書11・12・14・16・17・19を読んでください。

- ① 間柱固定金具を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
- ② 間柱前の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



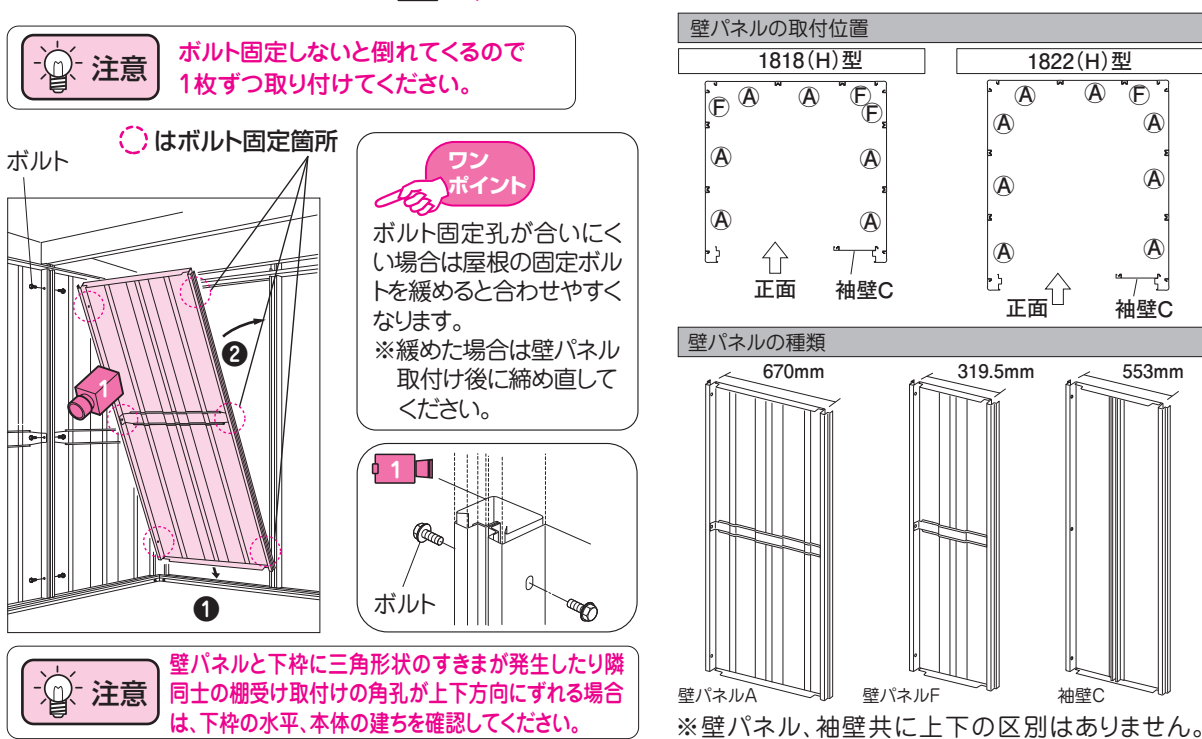
12 戸当たりの取付け

- ① 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程17参照



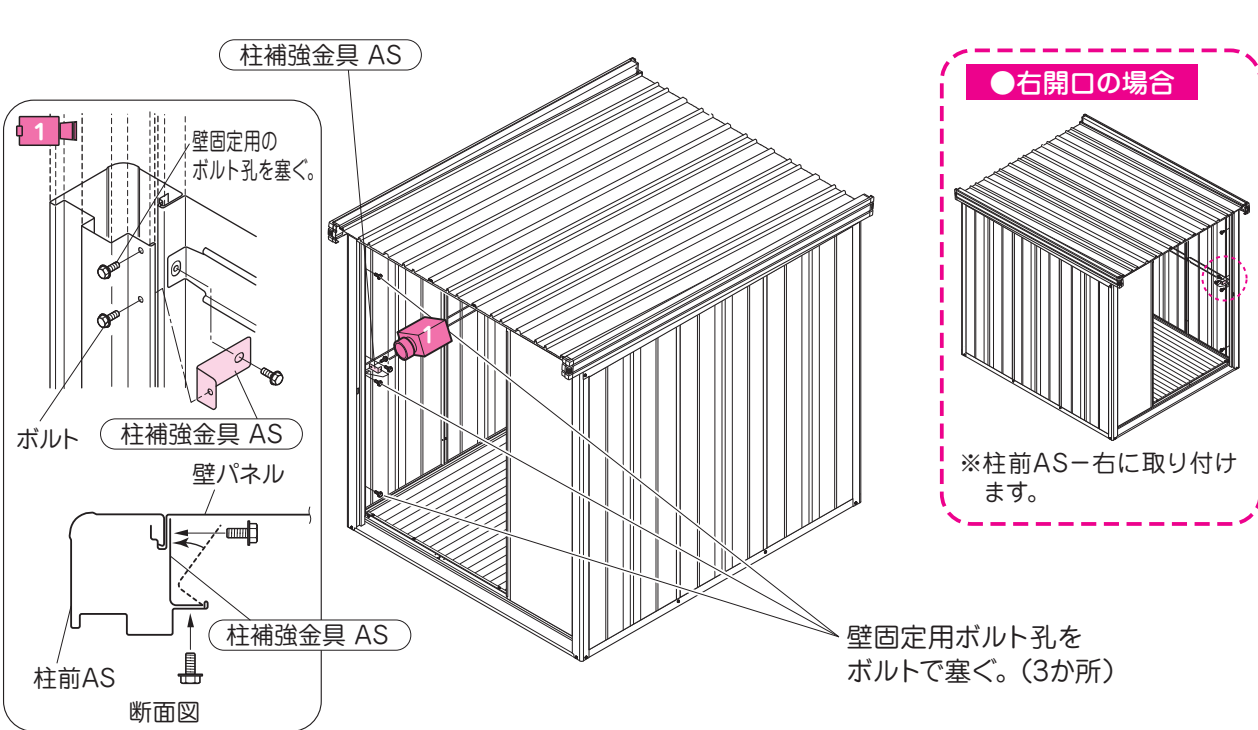
13 壁パネル・袖壁の取付け

- ①室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ②柱・間柱にボルト止めします。**1** **2** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。- 工程14参照)



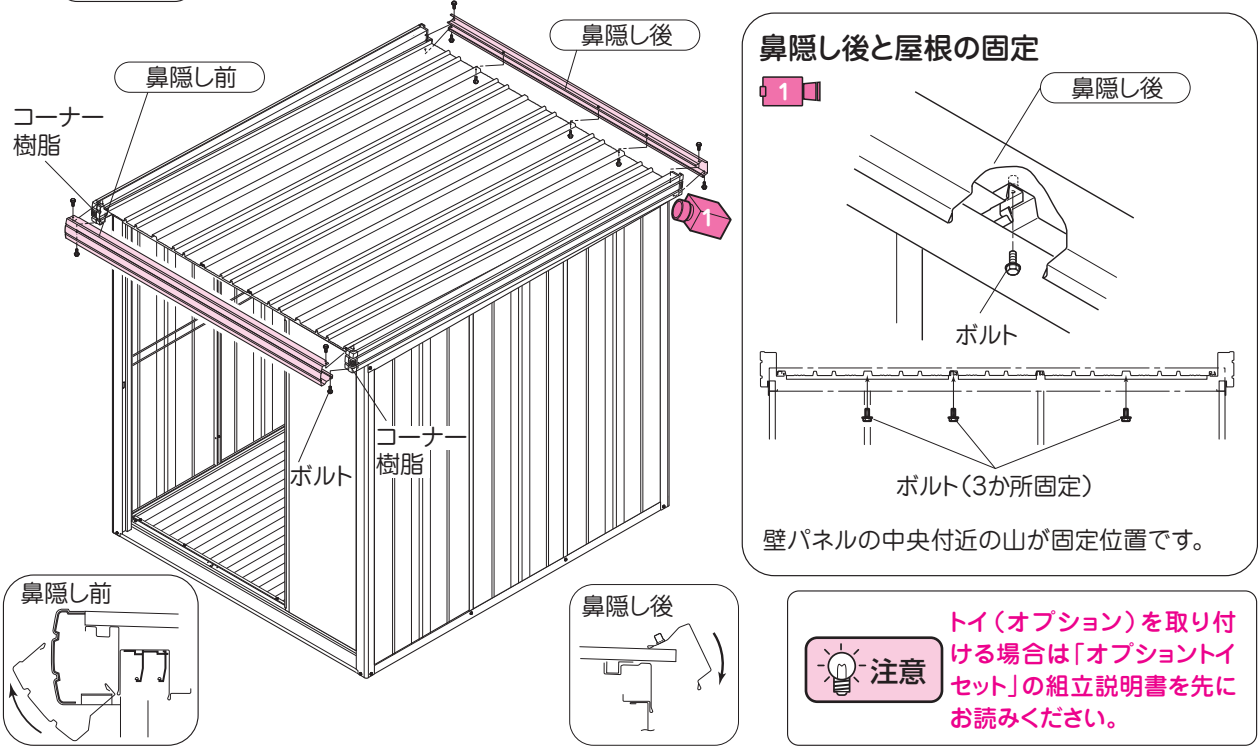
14 柱補強金具の取付け

- ① (柱補強金具AS)を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。**1**
- ② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



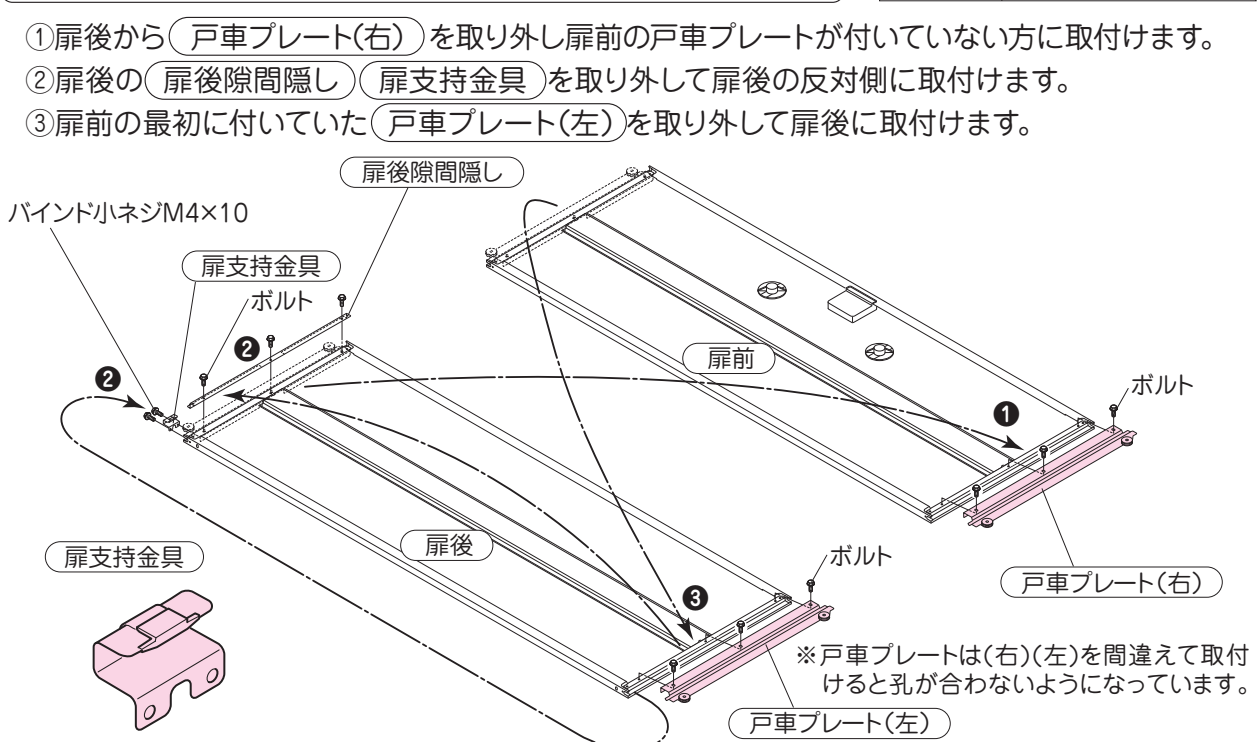
15 鼻隠しの取付け

- ① 鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。**1**



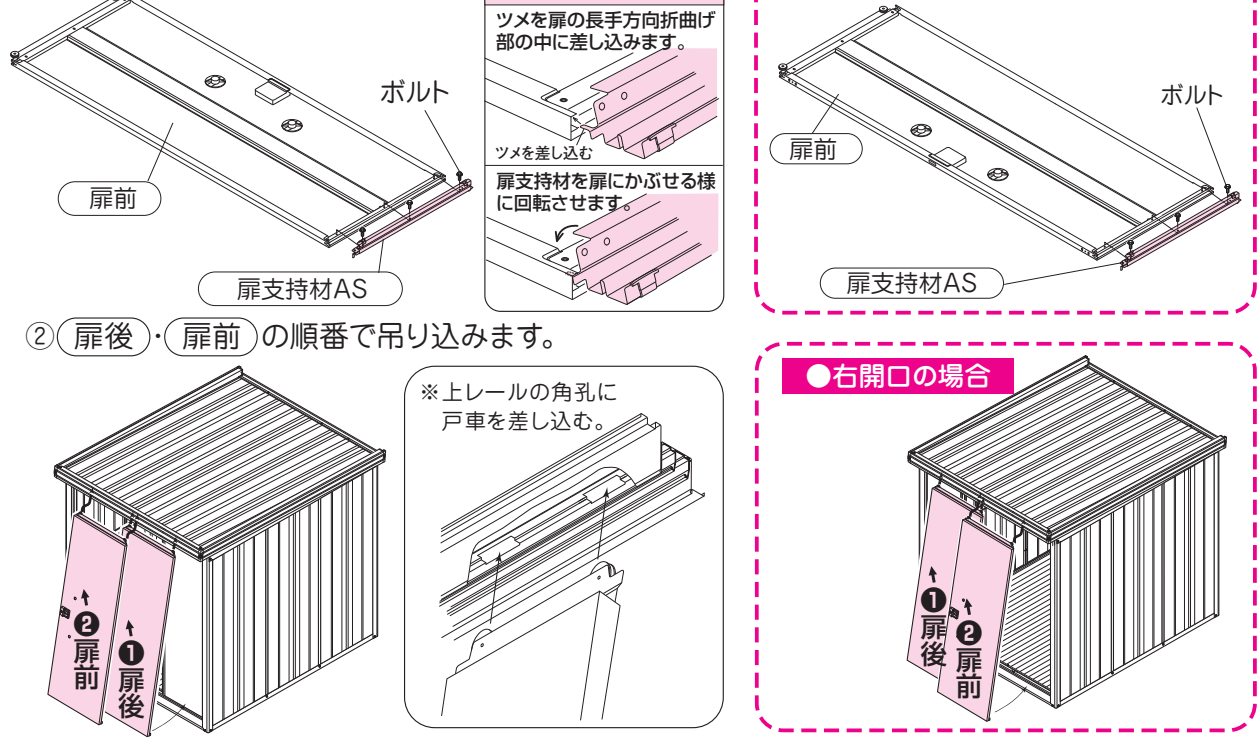
16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

- ① 扉後から(戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
- ② 扉後の(扉後隙間隠し)・(扉支持金具)を取り外して扉後の反対側に取付けます。
- ③ 扉前の最初に付いていた(戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。

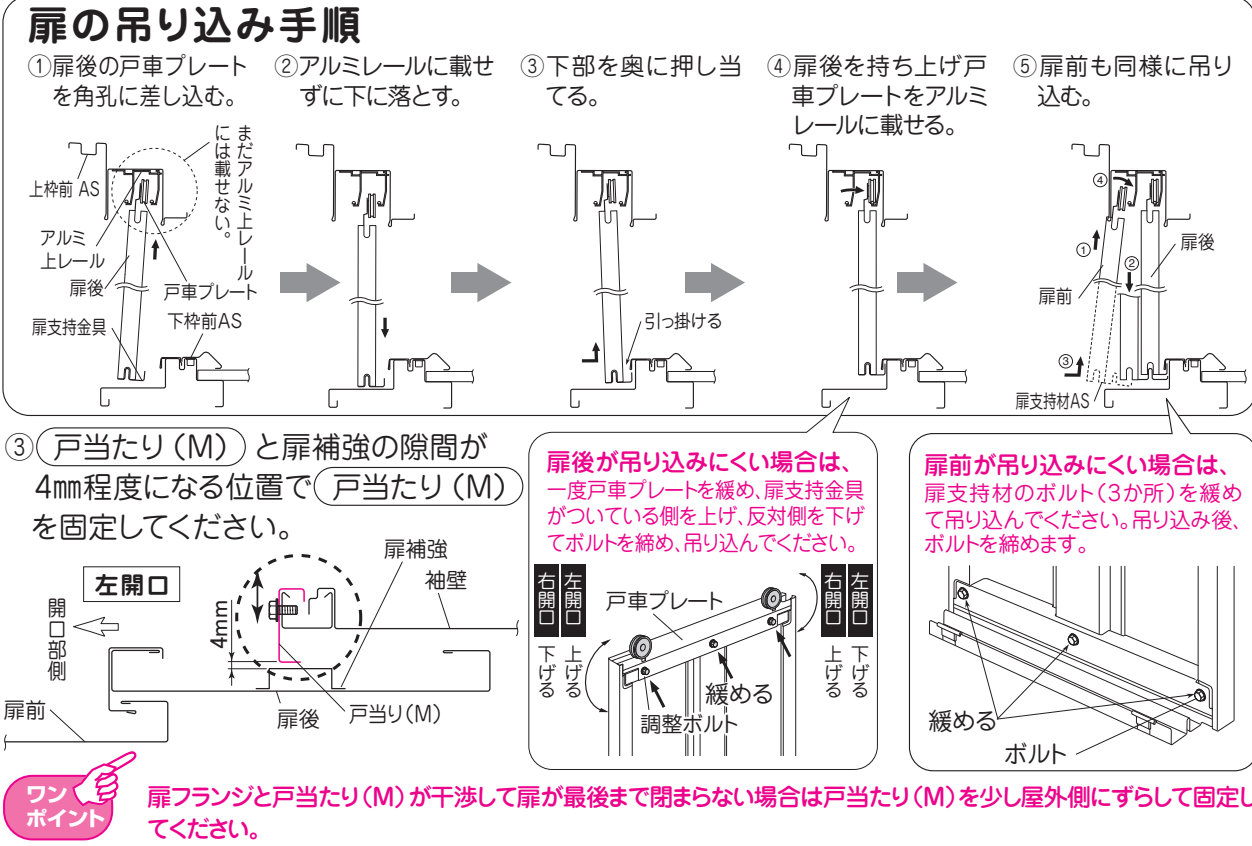


17 扉の吊り込み(1)

- ① 扉支持材(AS)を扉前に取付けます。
- ② 扉後・扉前の順番で吊り込みます。

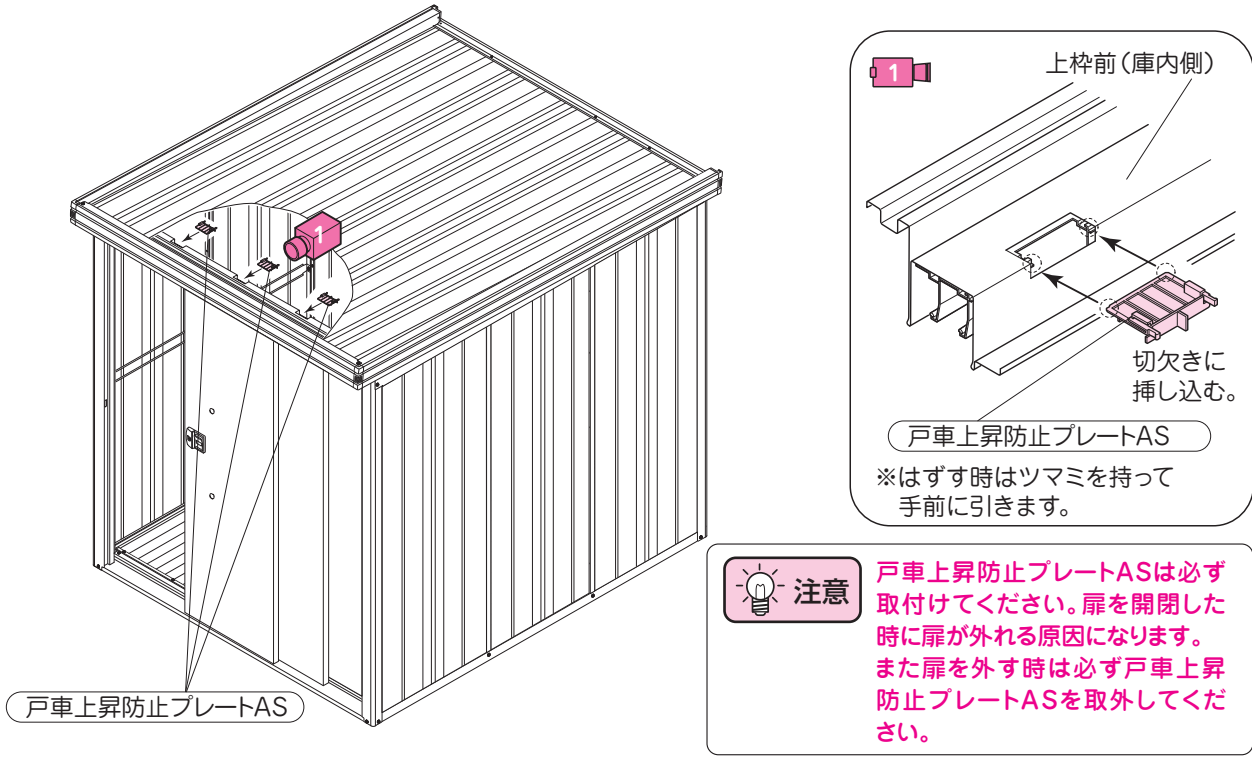


17 扉の吊り込み(2)



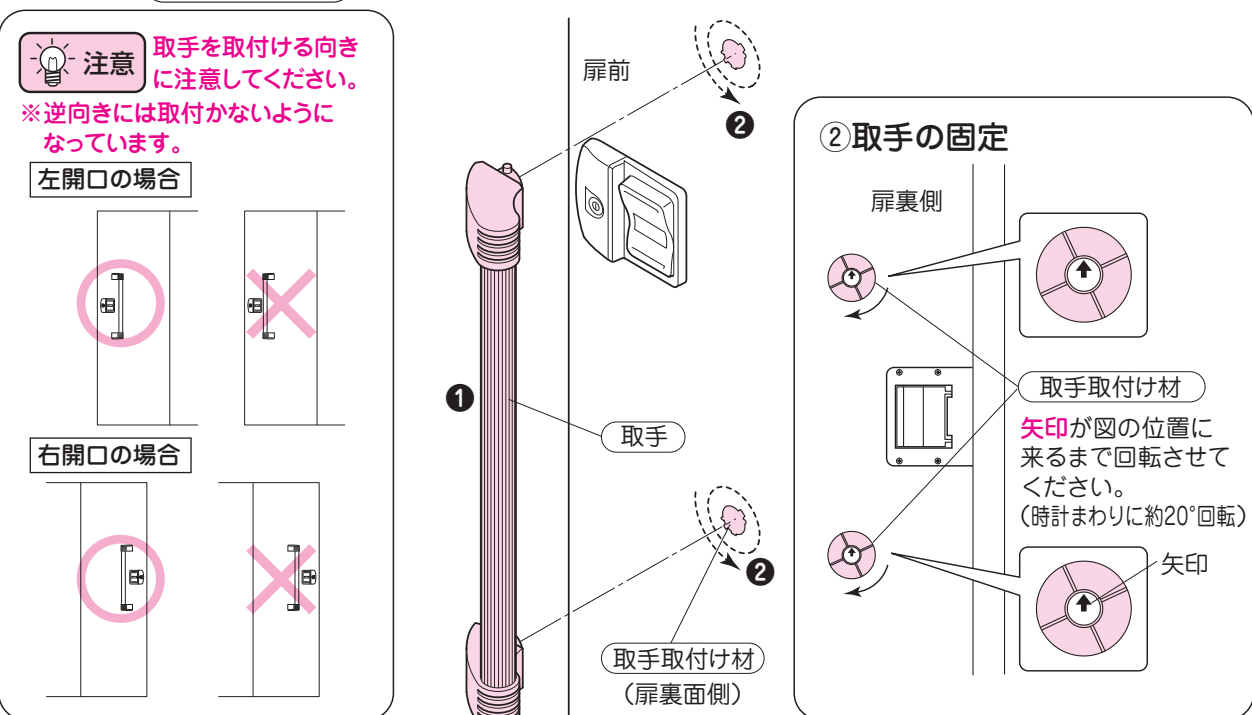
18 戸車上昇防止プレートの取付け

- ① (戸車上昇防止プレートAS)を上枠前ASに取付けます。(3か所)**1**



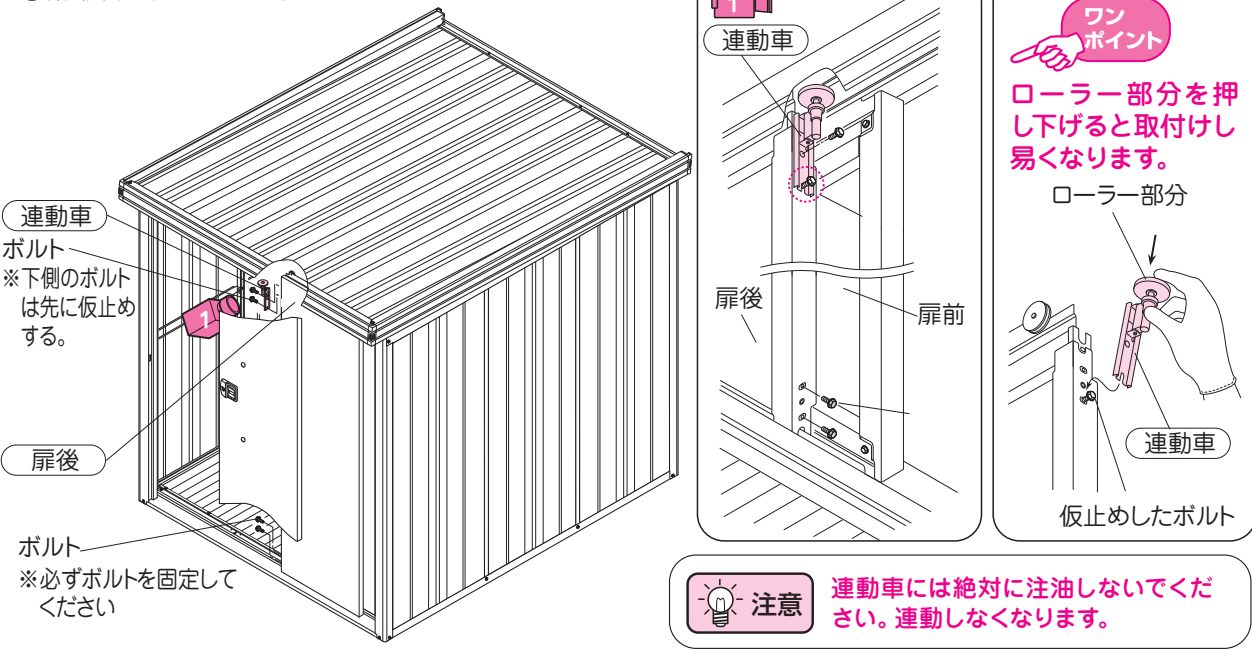
19 取手の取付け

- ① (取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- ② 扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



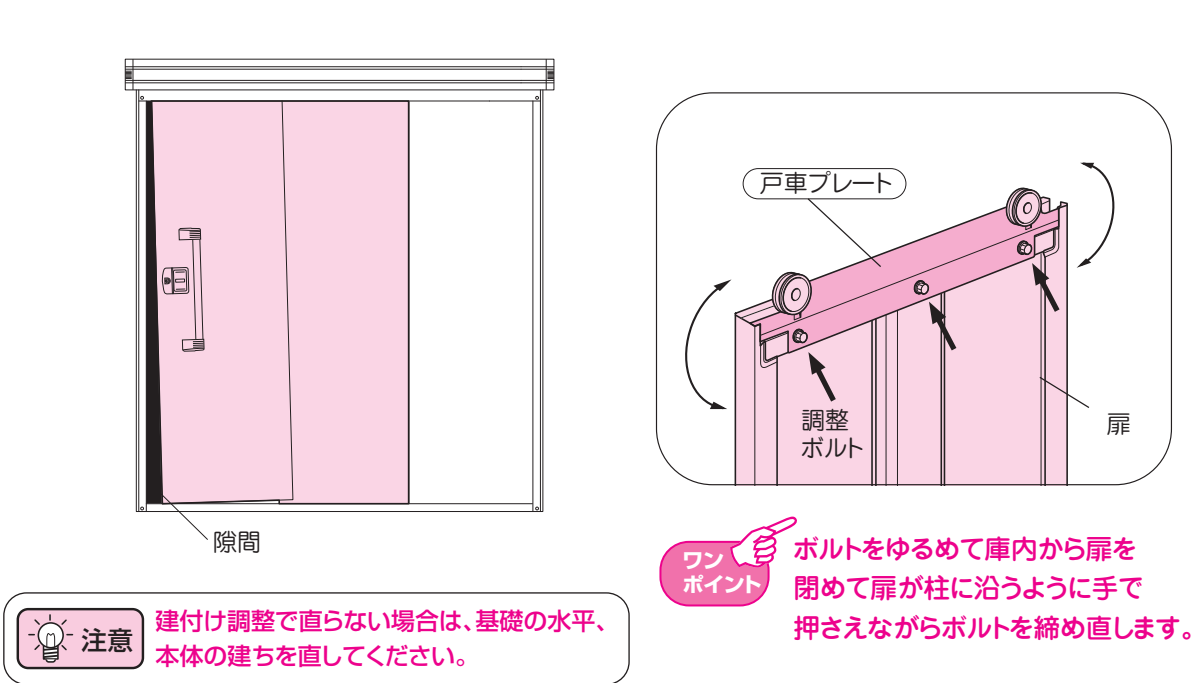
20 連動車の取付け

- ① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- ② (連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**
- ③ (連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- ④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



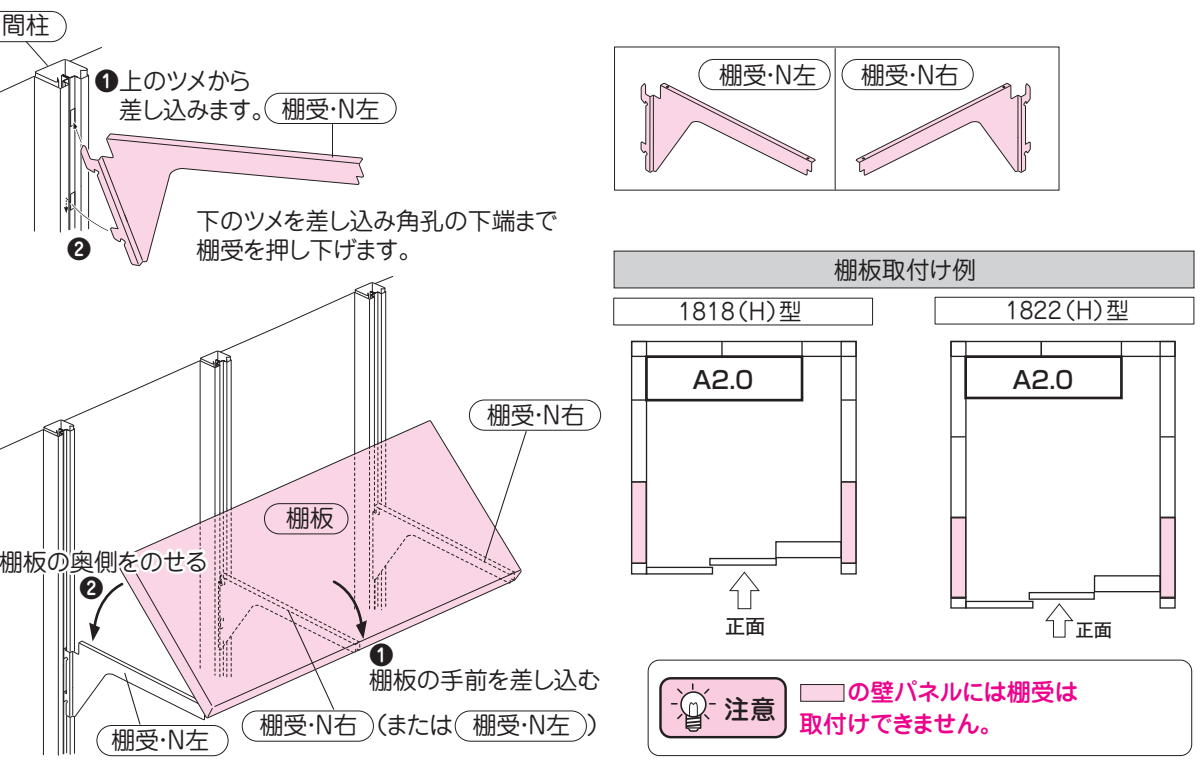
21 扉の建付け調整

- ① 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。
- 隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



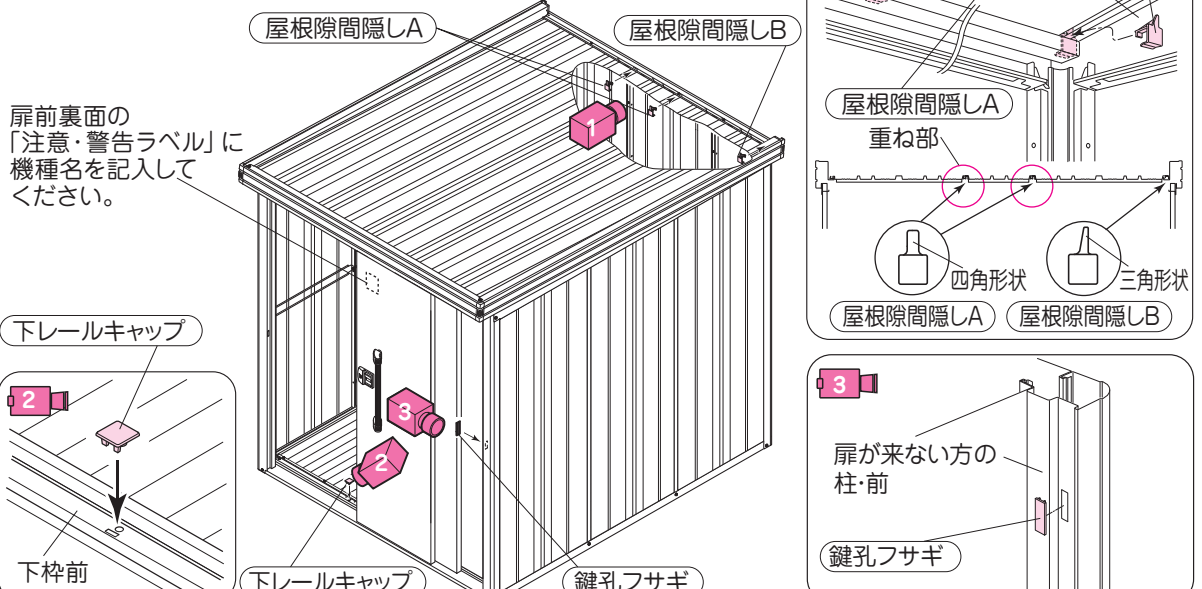
22 棚板の取付け

- ① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



23 その他部品の取付け

- ① 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- ② 屋根隙間隠し(A)を上枠後の屋根の重ね部に取付けます。(屋根隙間隠し(B)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。)
- ③ 下レールキャップを下枠前に取付けます。**2**
- ④ 鍵孔フサギを袖壁側の柱前に取付けます。**3**



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

① 扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。

② 鍵が正常に作動するかご確認ください。

③ 戸車上昇防止プレートASが取り付けられているかご確認ください。

④ 棚板の配置確認をしてください。

⑤ 機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)

⑥ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17・18・20)
・扉がスムーズに連動しない。	1. 本体の建ちを確認してください。 2. 連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3. 連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程17)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(1818(H)・1822(H))

ヨドコウ

LMD-1818_KS_2025B